



キャリア
これからの自分を創る!

CAREER PATH GUIDE

大学院生のためのキャリアパスガイド **2025**



新潟大学 大学院教育支援機構
PhDリクルート室
PhD Career Support Office

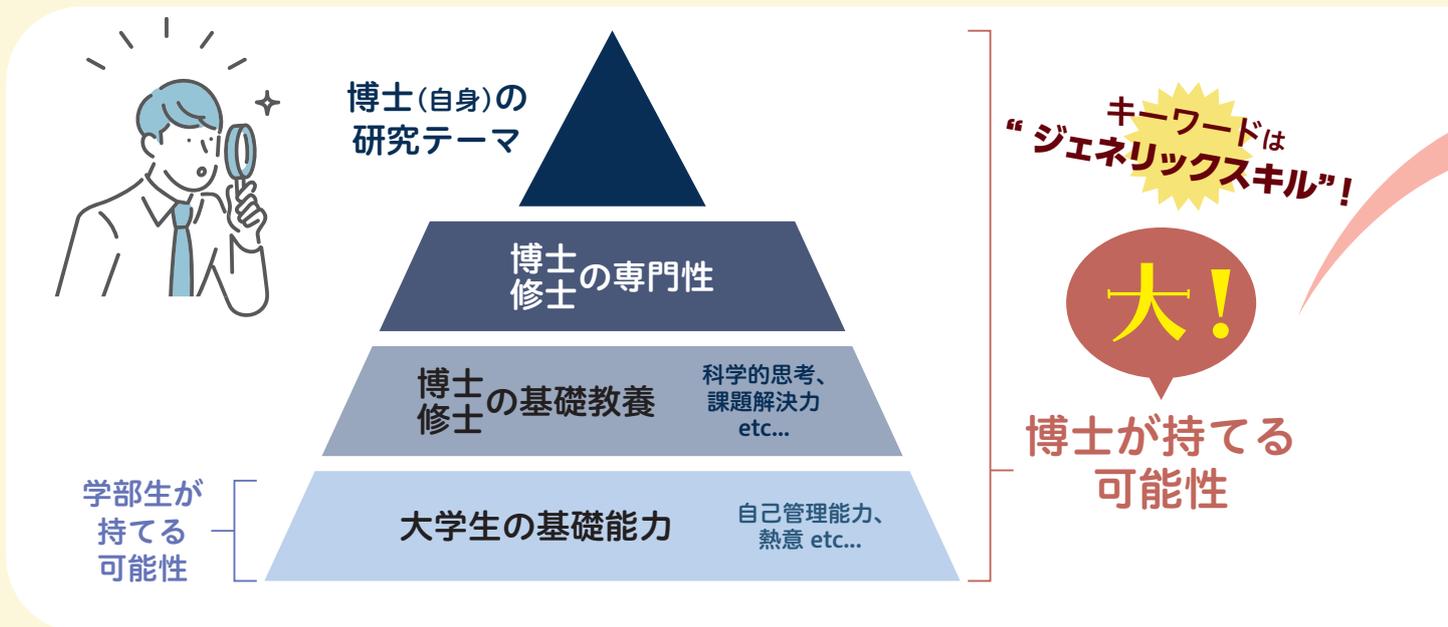


これからのキャリアをどのように考えていますか？ 今、「博士」への期待が高まっています！

未来予測が難しい今、企業の発展や成長を支えるための事業企画や研究企画、そして先端研究の分野がますます重要になっています。これらの分野をリードし、世界で活躍できる高度な専門性を持つ人材が博士であり、その役割は重要視されています。博士を採用した企業では、採用後「能力・資質が期待を上回った」と回答する割合が学士・修士よりも高いというアンケート結果が出ています。

博士・博士後期課程（DC）の学生は、研究に打ち込む時間を十分に確保しながら、将来の挑戦に踏み出せるようにキャリア形成についても自ら考えていかなければなりません。新潟大学では、アカデミアでも産業界でも必要な研究力・ジェネリックスキルを身につけることのできるセミナーや、キャリア面談などのサポート体制が整っています。キャリア形成の第一歩として、このパンフレットをぜひご覧ください。

出典：文部科学省科学技術・学術政策研究所「民間企業の研究活動に関する調査報告2020」2021年6月



M1・M2の方

将来の見極め

現在のキャリアプランに関わらず、グローバル化する産業界の動向等、社会における博士という学位の重要性をしっかりと情報収集して認識を高めましょう！博士号取得後の進路は大学教員だけではなく、産業界や省庁においても高度人材としての活躍が期待されています。

D1・D2の方

積極的な活動

D1の期間を利用してジェネリックスキルを高め、企業や各機関との接点を深めることで自身のキャリアパスを広げることができます。企業就職を目指す場合、D2の期間は就職活動のメインの時期にあたります。積極的に産業界との接点を作り、相互理解を深めましょう。

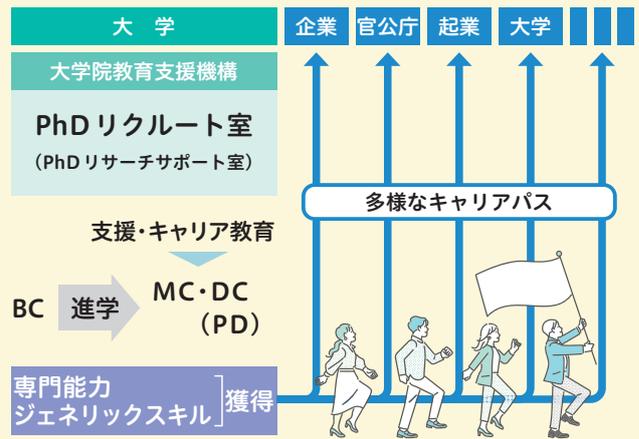
D3・D4・PDの方

可能性の追求

博士人材のニーズは高く、チャンスはまだ多くあります。焦らずに企業や人との接点を広げ深めましょう。セミナーへの参加や、他分野や博士学生同士の交流の機会も活かし、情報を集めましょう。選択を悩む際は、PhDリクルート室にご相談ください。

PhDリクルート室での支援

どんな場面でも専門知識や研究能力を発揮するための“ジェネリックスキル”を獲得できるセミナーを開催しています。また、企業や研究機関との接点を作る参加型マッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」やインターンシップなどの機会も提供しています。これらの支援により、博士・博士後期課程学生（DC）のキャリア形成を後押しするのが当室の役割です。2022年度にはPhDリサーチサポート室を発足させ、研究力の推進等についてのサポート体制も整っています。これらのプログラムの多くは、教職員の皆様も受講可能です。



ジェネリックスキルとは？

トランスファラブル・スキル（転移可能な能力）とも呼ばれる「分野に関わらず様々な状況のもとで適用できる高次の能力」のことで、現在では世界的に求められる能力になってきています。将来の予測が困難な現代、博士・博士後期課程（DC）で専門力だけではなく様々なチカラを身につけていきましょう！

ジェネリックスキル

リテラシー

情報収集力
課題発見・解決力
批判的思考力

コンピテンシー

コミュニケーション力
リーダーシップ
創造性 自立性
柔軟性 タスク管理能力
自己管理能力

総合的判断力
豊かな人間性
高い知性

多様な未来へ！

学ぶ

社会の事例や先輩の経験をまずは知りたい！

博士のキャリア事例を学ぼう

- p4 ●●● キャリアマネジメントセミナー
- p5 ●●● 未来の博士ゼミ

研究や生活を充実させたい！

研究室や大学を飛び出そう

培う

どんな場面でも使えるスキルを身につけたい！

持てるスキルを「真の力」としよう

- p6 ●●● ジェネリックスキルセミナー
- p7 ●●● キャリア相談

- p11 ●●● 博士人材育成コンソーシアム連携活動
- p12 ●●● 博士支援制度
- p14 ●●● 大学院生間の交流促進

挑む

自分のキャリア選択をしたい！

学外に出て、自分の力を試し伸ばそう

- p8 ●●● PhDリクルートフォーラム
- p10 ●●● 企業研究サイトビジット
- p10 ●●● ジョブ型研究インターンシップ・インターンシップ

●…M1・M2 ●…D1・D2
●…D3・D4・PD

キャリアマネジメントセミナー

博士・博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）の皆さん、そして修士・博士前期課程学生（MC）の方々は大学院や研究室で専門知識を身につけ、研究スキルを磨いていると思います。実は、その深掘りの専門性だけでは世の中に求められる人材になるのは難しいのです。

大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での研究や開発はほとんどがチームで進みます。そのため、仕事を成果につなげていくためには、**リーダーシップやアントレプレナーシップなど研究以外の知識やスキルが必要です**。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも**知的財産権（特許権など）の獲得が優先**されます。

このように現在の研究室とこれから皆さんが活躍する社会では手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身につけていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得をお手伝いします。

2025年度は右の16コマを実施します！

※対象：MC、DC（BC、PD希望者は聴講可能 ※単位取得不可）
※講演の順序は変更になる場合があります。
※詳細はシラバスをご覧ください。

新潟大学PhDリクルート室 2025年度講義	
1 リーダーシップ 誰もがリーダーシップ 板倉 朋宏 国家資格キャリアコンサルタント	2 企業の種類と分析 B2B、B2Cとは？ 有価証券報告書を読むと企業がわかる！ 弥富 洋子 新潟大学 特任教授
3 イノベーション イノベーションって何？イノベーションを起こすとは？ 宗像 基浩 メルクエレクトロニクス株式会社 経営企画・イノベーション推進部長	4 知的財産マネジメント 企業利益の源泉、知的財産マネジメント 齋藤 優希 サントリーホールディングス 知財部長
5 交渉学 交渉学で読み解くキャリア戦略：選択と決断の技術 隅田 浩司 東京富士大学経営学部 教授	6 プロジェクトファシリテーション グループワークを上手く進めるコツ 関 尚弘 合同電機工業 経営本部 デジタルトランスフォーメーション推進イノベーションセンター
7 マーケティング 価値創造とブランドマーケティング ズナイデン 房子 日本マクドナルドホールディングス	8 研究者のためのビジネスマナー 卓越したリーダーシップを育む印象アップ戦略 高原 温子 A.T.PLANNING、代表
9 アントレプレナーシップ 企業を起こすとは、スタートアップとはどういうこと 山下 良一 シーズレイザー 代表	10 新ビジネス創出事例 窪田 雅貴 Riparia 代表取締役 CEO
11 企業での活躍① マーケティングストラジストとして働くキャリア 櫻井 容子 ディー・エイスシー 執行役員 CMO マーケティング推進部長 兼 戦略推進ユニット 部長	12 企業での活躍② 博士の未来をデザインする：ビジネス視点でのキャリア設計で新たなキャリア 宇田 哲也 富士通 デザインセンター センター長
13 企業での活躍③ 働き続けることで未来を拓く 大畑 内み 日本海上ディーアール 企業経営本部人事担当ディレクター 兼 人事部長	14 企業での活躍④ キャリアは一本道じゃない！多様な経験が未来を創る 片岡 由美子 TOTO 経営企画部 経営企画部長
15 企業の経営理念と事業戦略 経営理念の概念、NECのIT事業開発事例紹介 貞廣 滋 コーポレート事務局 兼 経理部長兼システム・ネットワークグループディレクター	16 日本の産業政策 大木 正 経済産業省 国際・IT政策課

インタビュー



医歯学総合研究科
博士課程2年(DC2)
池澤 泉

本セミナーは、複数の企業から講師を招いたオムニバス形式で開催され、講師の方々それぞれのキャリアを通じて、博士人材に求められる資質について語っていただきました。近年、博士人材の価値が再評価される中、このような講義は非常に貴重な機会だと感じました。私自身、これまで企業との関わりを意識することは少なかったため、企業と博士卒人材の関係性について新たな気づきを得たり、社会人として必要な素養を再認識したりすることができ、とても有意義な時間でした。

特に印象に残ったのは、大学在学中に起業し、その経験を基に現在も活躍されている講師の方のお話です。「普通の生き方では得られない経験を楽しむ」という姿勢に大いに刺激を受けました。分野は異なりますが、この講義を通じて、自身の学位取得やその後のキャリアに向けて、在学中の研究や活動に改めて全力を尽くそうと決意を新たにしました。

本セミナーは、企業での活躍を目指す学生にとって実践的な知識や必要なスキルを学べるだけでなく、アカデミアを目指す学生にも、博士進学や博士人材としてのキャリアについて新たな視点と自信を与えてくれる、とても価値のある機会であったと感じています。

受講者の声

- リーダーシップに重要な要件の中でも多くの人から信頼されること、という点を特に大事にしたいと思いました。
- イノベーションを起こすために大切なことは「自分の興味にとらわれず、幅広い分野に関心をもつ」ことだと考えました。
- 今行っていることは社会に入っても重要な力であることがわかり、日々「正しい問い」を見極めての研究を行っていきたいと思います。
- 第一印象に始まり、私の一挙手一投足全てが印象に関わりと肝に銘じていきたいです。今日から実践したいと思える内容が非常に多く、大変勉強になりました。
- 「何もしなければ失敗もしない。しかし挑戦しなければチャンスも無く得るものもない。」という言葉について、私も失敗しても挑戦することに意味があると思いました。
- 人生は縁でつながっていて、部署は変わってもそこで身につけた考え方が生きていくという話を聞いて、今を頑張ろうという気持ちになりました。
- 強いものが生き残るのではなく、賢いものが生き残るのではなく、変化に対応できるものが生き残るということを学びました。

未来の博士ゼミ 先輩と描く博士取得後のキャリア

博士号を取得後、産業界またはアカデミアで自身のキャリアを構築している先輩たちを招きキャリア選択の事例を聞くとともに、それに至る葛藤や決断など皆さんが最も気になる部分の情報を提供します。博士号取得の過程と進路を決めたきっかけ、準備したこと、そのためのプロセスなど、調べるだけでは得られない生の声を収集できる貴重な機会です。また、産業界とアカデミアの違いなど、現在の実務的な環境に関してもお話を聞くことができます。2025年度は10月頃に開催予定です。



インタビュー



現代社会文化研究科
博士後期課程2年(DC2)

井上 咲子

これまで、アカデミアの方々にキャリア相談をさせていただく機会はありませんでしたが、産業界を選択された方々のお話を聞いたことはありませんでした。双方の先輩方の経験談を聞くことで、博士後期課程での就職活動に対するイメージが浮かんだのを実感しました。また、就職後だけでなく、学生時代のお話も聞くことができ、将来のキャリア構築のために、今、何をすべきかが明確になりました。そして、博士後期課程で培っていく課題発見・解決能力や伝達力、後輩指導の経験等は、どんなキャリア選択をしても、将来、必要で役に立つ能力であると知りました。本セミナーでは、グループごとに分かれての意見交換や相談ができる時間もあり、よりリアルなお話を伺うことができました。親身に話を聞いてくださったので、参加して良かったと感じました。将来のキャリア選択のみならず、日々の研究への取り組み方も見つめ直せる貴重な機会ですので、参加をお勧めします。

先輩からのメッセージ



新潟大学大学院
自然科学研究科2020年度修士
博士(工学)
日本電信電話株式会社

谷口 諒太郎

私が皆さんに本当に考えていただきたいことは、将来皆さんが何を成し遂げたいのか、何になりたいのか、つまりは自身の未来像は何か、ということです。博士に進学するかどうかや、アカデミアと産業界のどちらに進むかどうかを考えることも重要ではありますが、それは皆さんにとって真に重要な事例ではありません。自身の未来像が明確ならば、その思い描く未来を目指すための進路はおのずと見えてくるはずですが、一方で、自身の未来像が不明確のまま進路を決定してしまうと、後に進路を変更する際に多くの時間とコストを要します。基礎研究をしたいのか、製品開発をしたいのか、エンジニアになりたいのか、地元の工房で技術を守りたいのか、日本で安定した職に就きたいのか、世界で活躍したいのか、自分の目指す未来像を明確化し、そこに到達するために必要な進路を選ぶことが、皆さんの夢を達成するための近道です。



新潟大学大学院
自然科学研究科2018年度修士
博士(理学)
JX金属株式会社

角田 竜馬

私がお伝えしたいことは、どんな進路を希望するとしても、目の前にある勉学・研究に真摯に取り組み、分野を問わず活用できる知識・能力を獲得してほしいということです。私は博士課程へ進学し、修了後は大学での基礎研究とは毛色の違った研究開発に携わりたいと思い、企業への就職を希望しました。現在はJX金属株式会社で博士課程の研究テーマとは異なる分野の研究開発に従事しています。入社当時は、異分野での研究開発に対して、自分の経験が役立つ不安でした。しかしながら、大学院で培った論理的思考力等のスキル、研究に使った基礎知識は、業務の幅が広がるにつれて、活用する場面は増えています。そのため、大学院で得た知識・能力は、分野を問わず幅広い領域で役立つものと考えようになりました。大学院で研究をしている皆さんには、自分の研究テーマに積極的に取り組み、しっかりと基礎知識と、強みとなる能力を幅広く身につけ、分野を問わずに活躍していただきたいです。

どんな場面でも使える
スキルを身につけよう

ジェネリックスキルセミナー

課題解決や円滑なコミュニケーションに役立つ実践的な能力を身につけるための“ジェネリックスキルセミナー”。講義形式で聞くだけでなく、演習も交えてスキルを獲得できるセミナーです。日々の研究活動でも社会に出た後でも、成果を出すために重要な素養を高めていきましょう！

1 研究者のためのビジネスマナー 未来を切り開く自己表現&関係構築法

講師 A.T.PLANNING代表 高原 温子

開催 2025/ 7 / 4 (金)

インタビュー



医歯学総合研究科
博士課程1年(DC1)

遠藤 愛

このセミナーを一言で表現するなら、「話し方道場」です。ビジネスシーンのコミュニケーション、特に「話し方」について、発声方法から話の構成手順まで学ぶことができます。

「道場」と表現したのは、このセミナーが演習を重視していることにあります。参加者同士での自己紹介や企業の方との会話、模擬面接など、様々な状況を想定し演習を行います。他人からアドバイスをもらうことやスマホで自分を撮影し振り返ることで、自分の癖や問題点を確認し、改善へと繋げていきます。講師の高原さんはビジネスシーンでどのような振る舞いが適切であるか、各人に合ったアドバイスをくださいます。

「演習なんて難しい」。それがこれを読んだあなたの素直な意見ではないでしょうか。ですが、このような練習ができる機会、指導していただける機会は少ないと思います。参加することで必ず得るものがあるセミナーです。その貴重な機会をぜひ逃さないでください。

2 交渉学 戦略的交渉力:しなやかな対話力を身につける

講師 東京富士大学教授 隅田 浩司

開催 2025/ 6 / 4 (水)

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程2年(DC2)

草野 曜圭

私がこの講座に参加したきっかけは、そもそも「交渉」とは何かを学ぶためです。私は交渉とは関係者に利害の不一致があるときに、あらゆる場面で生じるものという認識はありましたが、具体的に「交渉」を説明することはできませんでした。そのため、わかったつもりになっている「交渉」について改めて学びたいと思い、参加しました。

今回講座に参加してみて、驚いたことは「交渉」を理解している者と理解していない者では、得られる結果に大きく差があるということです。講座では交渉の例が示されました。内容はよく目にするもので、私も経験があるような会話が展開されていました。しかし、交渉学の観点から整理すると、片方の人物が無意識のうちに、一方的に不利な立場を押し付けられていることが明らかになりました。

今後様々な場面で生じる交渉において、自分が一方的に損をしないように、まずは「交渉」を理解する必要があると強く感じました。そのために、多くの人に受けてほしい講座だと思っています。

3 プロジェクトファシリテーション 課題解決を加速する

講師 古河電気工業株式会社
BPRプロジェクトファシリテーションプロフェッショナル 関 尚弘

開催 2025/ 6 / 20 (金)

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)

牧野 理子

皆さんは、「この会議、もっと効率よく進められないかな?」「意見を積極的に言う人と、あまり発言しない人の差が気になるな」と感じたことはありませんか?私にはあります。最近はオンラインでの会議も増えたため、小さな意見でも話しやすい雰囲気づくりに苦労していました。

このセミナーを通じて、ファシリテーターが話を振る順番や対応次第で、発言しやすさが大きく変わることを実感しました。どんな意見も中立的に受け入れる姿勢が、参加者に安心感を与え、自然と話しやすい雰囲気を生み出すのです。さらに、ファシリテーターでなくても、意識してフォローし合うことで、より友好的で建設的な議論が可能になることを感じました。役割を入れ替えて演習する中で、参加者それぞれの強みが発揮されていたことも印象的でした。このセミナーで得た経験は、会議のみならず、後輩への実験指導にも活かすことができている。



キャリア相談 博士学生・博士進学を目指す学生

博士・博士後期課程学生（DC）、博士研究員（PD）の就職活動は、修士・博士前期課程（MC）までと異なり通年行えるのが特徴のひとつです。つまり、いわゆる“就活時期”に限らず情報収集や自己分析、そしてエントリーが必要です。PhDリクルート室は、活動の時期や方法がバラバラなことで悩まされるDC・PDの就活を支えます。キャリア相談を活用し、研究と就活の両立を目指しましょう。

また、就活関連のみならず、博士・博士後期課程（DC）への進学を含めた広範なキャリア形成もお手伝いしています。相談は通年受け付けていますので、お気軽にご相談ください。



1. 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます
2. 獲得したスキルを活かす進路を一緒に考えます
3. 博士人材を要望している企業との接点を作ります

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程2年(DC2)

増田 充恭

私は、企業へ提出するエントリーシートの添削を依頼するためにPhDリクルート室を利用しました。博士学生に求められるエントリーシートには自身の研究に関する設問が多く、私は特に、指定の文字数で研究概要を記入する欄で苦戦しました。専門用語を使っただけの記述であれば問題ありませんが、その読み手は専門知識をもたない方である場合が殆どです。そのため、文字数を抑えながら、可能な限りかみ砕いた丁寧な説明を含む文章を作成しなければならぬというジレンマに陥りました。

そこで私がお世話になったのが、同じく専門知識をもたないPhDリクルート室の先生です。企業側と同じ視点をもつ方から丁寧な添削指導を受けたことで、持ち込んだ文章は大きく様変わりしました。そのおかげもあり、提出したエントリーシートは無事に通過できました。

エントリーシートの書き方に限らず、就職活動でお困りの方は一度PhDリクルート室を訪ねてみてほしいと思います。気軽に相談できる環境が整っていますので、ぜひご活用ください。

こんな相談にお答えしています！

- 修了後のイメージが漠然としていて行動できない
ご自身の価値観や現在の進路選択の理由についてヒアリングし、「どうなりたいか」を引き出すお手伝いをします。
- 博士支援の状況について具体的に知りたい
p12に掲載している支援制度のほか、民間の研究支援制度や社会・企業からの期待やニーズについてもお伝えします。
- エントリーシートの添削・面接練習をしてほしい
企業目線で評価される箇所や分かりやすい伝え方についてファイルの添削や面談でもお伝えします。
- 博士・博士後期課程（DC）に関する情報が欲しい
進学したいが決断できないという方へ、新潟大学における博士・博士後期課程（DC）に関する情報や事例をご紹介します。

■相談方法

PhDリクルート室HPの相談フォームで相談予約

【入力項目】

- 所属・専攻・学年 ● お名前 ● 研究テーマ・概要
- 相談内容選択
 - 博士・博士後期課程（DC）への進学
 - 支援金・奨学金
 - 就職活動・面接練習・添削 など



相談予約受け付け後、日程調整のご連絡をお送りします
→相談日に来室またはオンラインで面談

予約なしでの来室も可能です！
近くをお通りの際はぜひ気軽にご相談ください

企業・研究機関との交流で
選択肢を広げよう

PhDリクルートフォーラム

博士人材と企業・研究機関とが直接交流できるマッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」では、就職のための情報交換だけでなく、プレゼン演習を通してPRできる自分の強みの認識、そしてポスター発表でご自身の研究に対するアドバイス・フィードバックを獲得できる等、スキルアップや研究活動の推進にも大きく寄与しています。準備期間・終了後のサポートも活用することで高効率な情報収集・就職活動ができ、博士・博士後期課程（DC）での研究に専念する時間の確保にも繋がります。2025年度は第10回を9月18日（木）に開催します。

1. 企業が求める博士人材像や参画してほしい研究領域などを聞くことができる
2. 博士人材自身の研究テーマや研究スキル、人物像をアピールすることができる
3. ブースで双方向の情報交流をすることでお互いの理解を深めることができる

この場で社風や活躍できる分野の確認、企業訪問や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話を進めることも可能です。

2024年度参加企業・博士人材

第9回 13社

キッコーマン 三栄源エフ・エフ・アイ 産業技術総合研究所
サントリーホールディングス 住友金属鉱山 TDSE
デンカ トクヤマ ナミックス 日本総合研究所 日本入試センター
みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 三菱ガス化学

博士人材：24名

学生参加者の声

- 発表練習を含めて異分野の方への話し方を学ぶことができました。
- 異分野の方から積極的に質問をいただけて、新たな研究課題等の発見に繋がった。
- 「PRシートを見て一番面白いと思った」とコメントしてくださった方がいて、自身の研究と、それを人に伝える意義についても再確認することができた。
- 企業の方と直に博士就職に関して話をすることができる良い機会となった。

企業から博士人材への期待

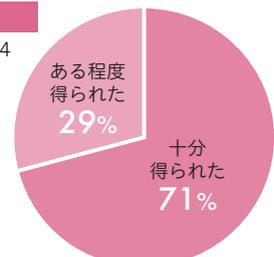
- 持っているスキルそのものよりも、そのスキルを得るに至った、或いはその過程の中で身につけた研究へのアプローチ方法や情熱、研究が好き・楽しいという気持ちが大切だと考えている。そういった情熱が、個人のスキルと会社の技術間でのシナジーを生むものと考えており、また入社後の継続的な成長にも繋がると考えている。
- 狭い領域でもいいので、一つの問題・テーマについて深みをもって突き抜ける人材であることが博士人材の特徴である。引き続き深みを持ちつつ、同時に社会に対して何をどう成果としてアピールできるかを考え続けて研究に取り組んで欲しい。
- 博士の持つ「難しい課題と向き合い、腰を据えて取り組む力」は、どの領域に進んでも通用するため、自分の可能性を信じて頑張してほしい。
- 即戦力であることは間違いなく、研究周辺のスキルや知識、さらには後輩を指導する研究マネジメント能力も大事である。また、大学の先生から与えられたテーマをきっかけに自分なりにどう広げて新しい分野（研究）にもチャレンジしているのかなども期待している。

アンケート

Q. 有益な情報を収集
できましたか？

学生

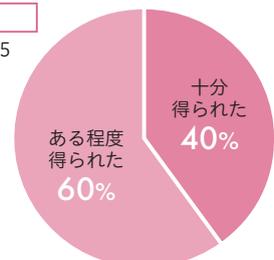
N = 24



あまり得られなかった 0%
全く得られなかった 0%

企業

N = 25



あまり得られなかった 0%
全く得られなかった 0%



自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)
**BANAKINAOU
Wiyao**

The PhD Recruitment Forum was an enriching experience that allowed me to interact directly with companies and research institutions. The event was well-structured, with poster presentations and networking sessions providing an excellent platform to promote my research and skills. I was impressed by the mutual exchange. The companies shared their expectations, and I had the chance to communicate my research goals.

Initially, I had preconceptions about the companies' profiles that they might not align with my research field. However, I discovered that many companies are multidisciplinary. This reassured me that regardless of my specific research area, what truly matters are my skills, adaptability, and personality. This shift in perspective has given me confidence in exploring diverse career paths.

The PhD Career Support Office also played an important role in preparing us for the event. During training sessions and practice exercises, I learned interesting techniques from the staff. Observing my peers in their approaches during both the training and the event day inspired me to think more creatively and strategically about promoting my skills.

Finally, the feedback I received from company representatives highlighted the strengths of my work and areas for improvement. The forum was a transformative experience that enhanced my confidence for job-hunting.



現代社会文化研究科
博士後期課程1年(DC1)
榎澤 茉宝

企業の方とのディスカッションを通して、研究デザインをより深めることができ、自分自身の強みを発見できたため参加してよかったと感じています。

本イベントに参加する前は、「自分の発表に興味を持ってくださる企業があるのか」という不安な気持ちもありました。しかし、実際には多くの方が積極的に話を聞いてくださり、企業の方から具体的なフィードバックもいただきました。また、企業側の視点で求められるスキルについて理解が深まり、今後の研究の方向性において、実用的かつ社会貢献性の高いアプローチを意識できるようになりました。この経験を通して、自身の研究をさらに発展させるための糧を得たと感じています。さらに、博士人材が企業でどのような貢献ができるのか、どのようなスキルが求められているのかについて考えを深めることができ、博士人材の多様な専門性や可能性についてのヒントも得ることができました。



06

挑む

企業・研究機関で実際に働く
イメージを手に入れよう

企業研究サイトビジット

マッチングイベント等でお目当ての、あるいは思わぬ企業から勧誘や研究所見学などの申し出を頂いた場合、その機会を逃す手はありません。見学だけでなく自身の研究内容などのプレゼンも可能な場合があります。直接企業を訪問すると、実際に勤務している多くの研究者や先輩方と話すことができます。企業研究サイトビジットを経て、インターンシップや採用につながった実績もあります。

1. 企業を直接訪問して業務の現場を見ることで働くイメージを獲得できる
2. 企業人への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認できる
3. 双方向の情報交流をすることでお互いの理解を深められる

〈実施実績〉 2022年度／1件3名（11月） 2023年度／1件1名（10月） 2024年度／2件7名（11月）



参加者の声

- 実際に研究が行われている現場を訪れることで、お話だけでは分からない実際の研究環境や技術の進展具合を直に感じることができました。
- 学生側の研究内容についてご質問・ご意見を頂き、とても楽しく情報交換することができました。
- 社員の皆様のご経歴やライフプランへの考え方を教えていただき、自分が働くうえで何を大切にするか、より深く考えることができた。

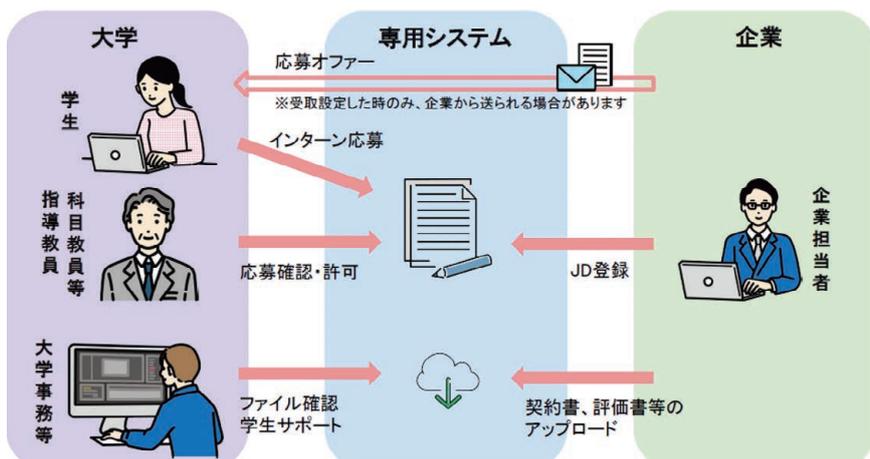
07

挑む

企業・研究機関で実際に働く
イメージを手に入れよう

ジョブ型研究インターンシップ・インターンシップ

産業界のグローバル化に伴い、研究職などの採用がジョブ型へ徐々に移行しつつあることはご存じでしょうか。ジョブ型研究インターンシップは企業活動を体験することで企業の実態を知り、その企業での働き方などを確認するためにも非常に有効な方法です。企業としても博士人材に実際の業務を担当してもらうことで、その人物像、研究スキル、知識レベルなどを評価することができます。企業の現場に参加し、**研究の出口**、**納期**、**コスト**の意識といった企業の考え方を学び、自身が社会で活躍するイメージを手に入れましょう。



ジョブ型研究インターンシップの 参加・実施の流れ

1. 専用システムへアカウント登録
2. 共通説明会へ参加
3. 各企業の職務内容を確認・プロフィール作成・応募
4. 企業選考・マッチング
5. インターンシップ参加
6. 面談・評価書受領
7. 学内報告会
8. 単位取得

インターンシップに関するご質問は
PhDリクルート室へご相談ください!

出典：ジョブ型研究インターンシップ推進協議会資料

博士人材のキャリア形成や研究支援のために大学間でプログラムや知見を共有する「博士人材育成コンソーシアム」に、新潟大学も参加しています。現在は北海道大・東北大・名古屋大・新潟大・筑波大・お茶の水女子大・東京外国語大・横浜国立大・立命館大・大阪大・神戸大・兵庫県立大・沖縄科学技術大の13大学で構成されており、各大学のイベントやセミナーに新潟大学の学生も参加可能です。各プログラムの案内は博士ポータルや学務情報システムを通じてお知らせしていますので、ぜひ活用してください。



プログラムの共有

- トランスファラブルスキル向上プログラムの共有
- 企業と博士人材のマッチングイベントへの学生の相互参加
- 博士向け教育動画の共有

博士人材育成ノウハウの共有

- プログラムへの教員および学生の相互参加
- 各大学代表者による専門委員会の開催
- 連携大学および企業等によるシンポジウムの開催
- 連携大学および企業等による博士人材育成支援に関する研究会の開催

インタビュー

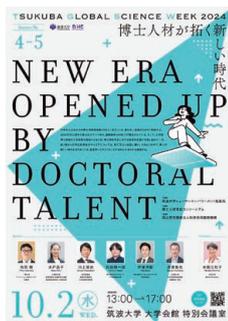
13大学合同！博士向け企業合同説明会2024



現代社会文化研究科
博士後期課程1年(DC1)
加藤 はなの

社会人博士学生として仕事と研究が忙しい中、オンラインで様々な企業のお話を直接聞いたことは非常に良い経験となりました。特に、企業が求める人材像を知ることで、今後自分がどのようなスキルを身につけ、どんなキャリアを目指すべきかを具体的に考えるきっかけになりました。また、13大学合同で行われたため、自分と同じように就職について悩んでいる博士の方々が多く参加していることを実感し、就職に対する考え方や意見を聞くことができたことも大きな収穫でした。一方で、理系の企業が多く、自分の専門分野を活かせる企業が限られていると感じたため、スポーツ関連など、より幅広い業界の話も聞けると良いと感じました。それでも、企業担当者から直接お話を伺い、質問できる機会は貴重であり、想像以上に企業側も博士人材を求めているということを知ることができ、就職に対する意欲が高まりました。今後自分がどのようなスキルを磨いていくべきか、目標を明確にする良い機会となりました。

2024年度実施共有プログラム（一部抜粋）



mini column

新大博士のための総合サイト！ 「博士ポータル」

博士・博士後期課程学生（DC）に必要な情報をジャンルごとに整理して公開しています。キャリアアップのためのセミナー情報だけでなく、メンターへの相談申込、オンライン交流のためのメタバース（oVice）へのアクセス、院生会情報、博士ToDoもこちらから！（<https://portal.phd.niigata-u.ac.jp/>）



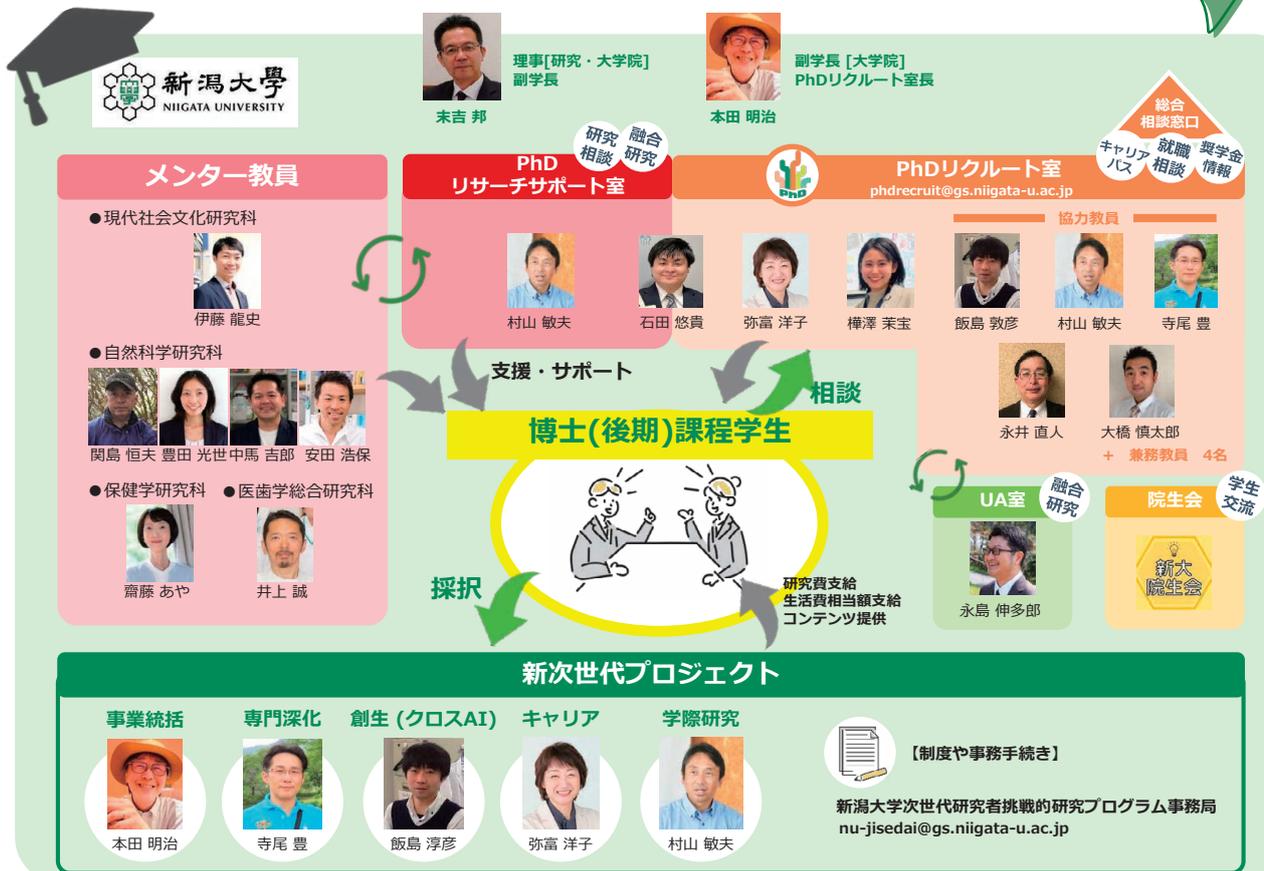
近年、日本では科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進める動きが高まってきました。

新潟大学は、2021年度よりJST「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」および「次世代研究者挑戦的研究プログラム～博士後期課程学生の挑戦を支援する～（SPRING制度）」の実施機関として採択され、延べ120名の博士・博士後期課程学生（DC）を採択・支援してきました。2024年度からはこれらの制度の後継となる新しいSPRING制度に移行し、**既存の枠組みにとらわれない挑戦的・融合的な研究に取り組むことができ、多様な分野でイノベーションを創出できる次世代の博士人材の育成に取り組んでいます。**

未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えた フロントランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト)のポイント

- 研究分野の指定なし！ 最大96名/年の博士・博士後期課程（DC）を支援
- 4つの人材育成ユニット
 - ・専門深化型ユニット
 - ・キャリア型ユニット
 - ・創生型（クロスAI）ユニット
 - ・学際研究型ユニット
- 博士・博士後期課程（DC）の研究・キャリア形成に必要な支援を提供
 1. 生活費相当額の支給及び研究費の支給 + 論文投稿費・海外渡航費支援
 2. メンターによる研究環境支援及びキャリア形成に関する助言や提言
 3. ジェネリックスキル獲得のためのセミナー等、キャリア開発・育成コンテンツの提供

博士・博士後期課程学生（DC）の研究生活・多様なキャリアパス形成をサポート！



実施内容 (2024年度)

※年度によって実施時期や内容が異なります

アカデミックライティングセミナー

論文執筆に役立つ英語論文ライティングスキル講座を実施。導入編・基礎編・上級編のテクニカルライティングのほか、個別論文特化型のライティング面談も行っています。

年度末成果報告会 (シンポジウム)

学生が支援によって獲得したスキルと研究についての成果報告や、新潟大学が育成する「博士」の姿と社会での重要性について共有と議論を行うシンポジウムです。

マルチラボシステム (学内短期留学)

学内の他研究室で研究を行い、分野横断・融合・挑戦的研究等を促進するための支援制度です。

自身の専門分野とは異なる分野への応用視点獲得をサポートしています。

若手データサイエンティストコロキウム

4回目開催となる2024年度は有志の次世代学生が企画・運営し、データサイエンスに関する講演や学生ポスター発表を行うコロキウムを開催しました。

PhD リクルート室提供キャリアコンテンツ >>>> p4~9

博士交流会 >>>> p11



その他の支援制度・奨学金も博士ポータルでご紹介しています!

- 日本学術振興会特別研究員
- 新潟大学博士課程奨学金
- 地方公共団体・民間奨学団体の奨学金・・・等

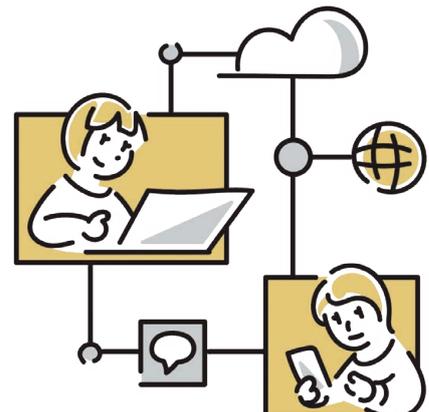


mini column

学振採択申請書WEBライブラリー 学振に採択された申請書類を公開中!

日本学術振興会の特別研究員 (DC1・DC2) に採択された研究課題の申請書をWebライブラリーとして集積しています。実際に採択された書類はどのような構成・表現をしているのかを学び、自身の申請書にも活かしましょう。詳細は博士ポータルをチェック!

※本ライブラリーは新潟大学の大学院生のみ閲覧可能です。



新潟大学院生会

大学院生が主体となって運営する「新潟大学院生会」。大学院生相互の理解と研究交流を深め、研究、生活等の向上を図ると共に、学問研究の発展の推進力となることを目的として活動しています。PhDリクルート室は院生会の皆様と連携し、大学院生の充実したキャンパスライフに向けた支援を行っています。「院生会」という名ですが、進学の情報を知りたい学部生の皆様のイベント参加もお待ちしております！ ※入会は大学院生のみ

大学院生による・大学院生のための「第三のコミュニティ」
新潟大学院生会
 niigata Univ. Graduate Students Community
 院生会員+運営メンバー通年募集中!!

2021年～活動、会員は80人超! 毎月対面イベント開催 対面イベントで新たな出会い! オンラインでいつでも交流 XやHPでも情報発信中

1 気軽におしゃべり！

大学院生の「仲間が欲しい！直接お喋りできる機会が欲しい！」という声にお応えした交流会です。少人数のグループで自由にお喋りを楽しみます。研究の息抜きにぴったりです！



2 ゆる運動会

学業・研究に追われ、息抜きに楽しく身体を動かしたい！という声を反映し、運動の得意不得意に関係なく、みんなで楽しめて気軽に参加できる運動会を実施しました！



3 研究発表会

2024年の開催テーマは「未知の世界への第一歩を踏み出そう」。文系・理系、学部生・院生を問わず、さまざまな発表者が集い、新たな知識を知ることができました。



4 他にも様々なイベントを開催！

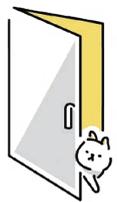
院生会主催のその他のイベント詳細は公式 HP をご参照ください！月に1回を目安に開催するイベントだけでなく、オンラインツールを用いた朝活や、有志のランニング部で運動など、日常的に自由な学生交流を行っています。

イベントへの参加・入会を心よりお待ちしております！

HPはこちらから！



入会はこちらから！
(大学院生のみ)



博士交流会

研究室・研究科・キャンパスを越え、分野融合・学際研究への発展など研究生活を充実させるため、「博士・博士後期課程学生（DC）のための」交流会を学生主催で実施しました。2023年度に続き第2回目の開催となり、今回は本学博士・博士後期課程（DC）が設置されている全4研究科から73名もの学生が参加しました。同じ大学の学生でありながら普段出会えない仲間と知り合い交流することができ、今後の研究のモチベーションにつながったという感想も参加者から寄せられていました。



インタビュー



医歯学総合研究科
博士課程2年(DC2)

Guo Antao

今年も昨年に引き続き、博士交流会に参加しました。このイベントは、キャンパス間の距離や異なる研究分野の壁を越えて、博士学生同士が交流し、新たな友人を作る貴重な機会です。主催してくださった運営の皆さまに深く感謝申し上げます。

交流会では、まず事前に用意された名刺を交換し、次にグループディスカッションでお互いの研究内容や趣味、生活スタイルについて語り合いました。私は特に「リラックス時の過ごし方」を質問し、興味深い答えをたくさん聞くことができ、楽しい時間を過ごしました。この機会を通じて、日本人や留学生を問わず、新たな友人ができたことも大きな収穫です。

また、参加者は昨年の40名程度から今年は80名以上に増え、開催時間も延長されるなど、このイベントの成長を実感しました。一方で、交流時間がもう少し長ければもっと多くの方と話せたかなと感じたことや、食事が少し物足りなかった点が惜しかったです（笑）。

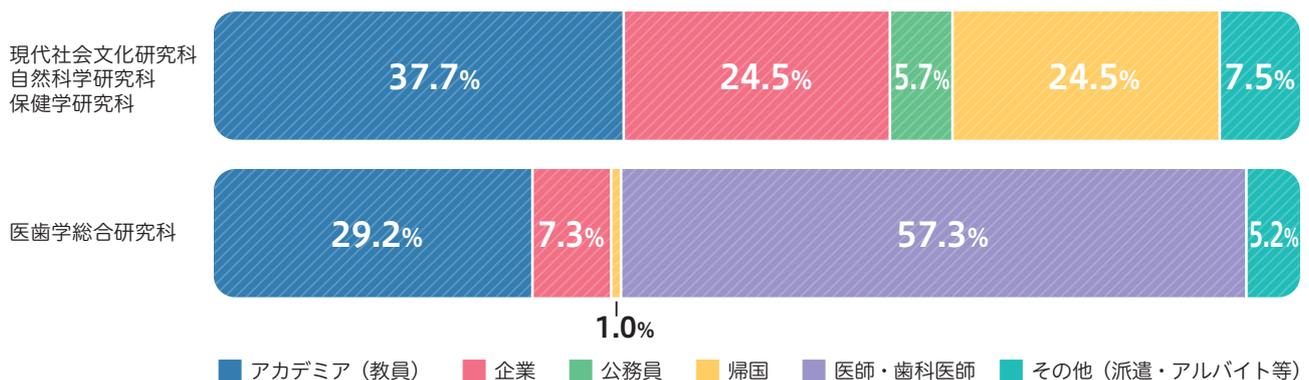
全体として、博士交流会は非常に充実した経験でした。今後も積極的に参加し、周囲の博士学生にもぜひおすすめしたいと思います。



mini
column

新潟大学博士・博士後期課程(DC)修了後の進路

在籍者数や修了・進路の傾向は研究科や専攻単位で大きく異なります。詳細についてはぜひご自身でご確認ください。



※2024年3月現在の「学校基本調査」のデータより算出

2025年度実施プログラム(予定)

【修士・博士前期課程(MC):課程共通科目】

No.	科目名	内容	開催時期
1	修士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	第1学期

【博士・博士後期課程(DC):課程共通科目】

No.	科目名	内容	開催時期
1	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	第1学期
2	博士のキャリア開発の実践	PhD リクルートフォーラム	9月
		ジェネリックスキルセミナー	6月・7月
		未来の博士ゼミ	10月頃
		企業研究サイトビジット	通年
3	博士ジョブ型研究インターンシップ	インターンシップ(1ヶ月以上)	通年

※詳細はシラバスをご覧ください。※日程等の詳細はホームページでご確認ください。

教員



PhDリクルート室長
副学長・自然科学系教授
本田 明治



担当教員 PhDリクルート室副室長
特任教授
弥富 洋子



担当教員 PhDリクルート室
特任助教
石田 悠貴



担当教員 PhDリクルート室
特任助教
樺澤 茉宝



PhDリサーチサポート室長
人文社会科学系准教授
村山 敏夫



協力教員
医歯学系教授
寺尾 豊



協力教員
自然科学系教授
飯島 淳彦

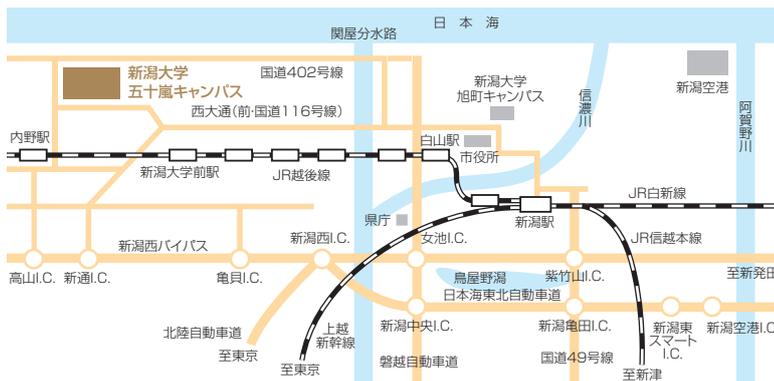


協力教員 大学院自然科学研究科附属
教育研究高度化センター
永井 直人



協力教員
自然科学系准教授
大橋 慎太郎

アクセス



■ 列車利用(JR越後線)

新潟駅～内野駅(所要時間25分)下車 徒歩で約15分
新潟駅～新潟大学前駅(所要時間22分)下車 徒歩で約20分

■ バス利用(新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門(所要時間約45分)



連絡先

〒950-2181
新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学 総合教育研究棟D204
TEL: 025-262-7217 (内線7217)
FAX: 025-262-7217
E-mail: phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp URL: https://www.phd.niigata-u.ac.jp



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。